

## 富山ウォーキングクラブニュース

第 163 号 (2022 年 11 月 1 日) 【発行責任者：寺山秀行】

11 月 6 日(日) 尖山ウォークのあと



### 県連BQ交流会に合流

尖山ウォーク 夏椿コースを歩く

【集合場所】 富山地铁 横江駅 8 時

県西部 小杉薬勝寺公園 P 6:30 集合

県東部 深海さんに連絡してください。

【持ち物】 昼食、飲料水、雨具、スパッツ、ストック、マスク、  
軽登山靴

【コース】 横江駅→尖山入口→夏椿登山口→夏椿峠→頂上合流→尖山頂上

11:00 559m→下山はいつもの道→横江駅 →11:30 からのグリーン  
ンパーク吉峰の BQ 交流会に参加。

参考に；“サンダーバード” 超有名なおにぎり屋さんあり夏椿コースの最後 30 分は登山です。  
軽登山靴が必要です。

グリーンパーク吉峰で富山県連の BQ 交流会に合流します。

【参加費など】 会費 2,000 円(BQ 食材+席料を含む) 解散 14 時予定

【申 込】 寺山まで ☎0766 (24) 8474 SMS090-2033-1905 ラインにて

【申込締切】 10 月 31 日 (月) まで

**守山城址ウォーク** 越中 3 大山城(他に、松倉城、増山城)

ここは、例年 11 月 月上旬頃からヌルデや モミジ、桜、コナラ、クヌギ、ホ  
オノキ、マンサクなどが色付き始め、中旬から下旬にかけて紅葉の見頃の時  
期です。歴史探訪と紅葉狩りもいかが！

【実施日】 11 月 22 日(火)小雨実施 都合により 11 月 20 日(日)を**実施予  
定を変更**します。

【集 合】 ①高岡東海老坂の国道 160 号線の万葉ライン入口を登り城山公園駐車場(観音像下)8 時 30 分

②国道 8 号線熊野町信号過ぎ 三共ジョーシン高岡店駐車場 8 時集合で相乗り

【持ち物】 昼食、飲料水、雨具、マスク

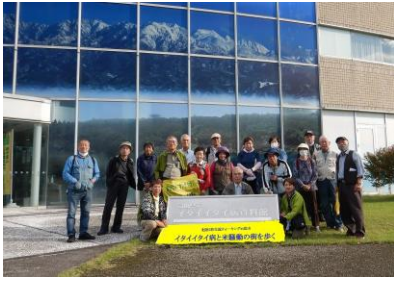
【コース】 駐車場⇒馬駆場⇒本丸跡(平和観音像)⇒毘沙門天⇒弘源寺(旧国泰寺)⇒駐車場

【参加費】 会員 300 円 一般 500 円

【申 込】 11 月 16 日(水) 寺山秀行 ☎090-2033-1905 ライン、SMS でも  
あんまり知られていない二上山を



守山城址を見る



## 北陸交流ウォークの記録と感想

延べ参加者は、福井2名、石川9名、富山9名の計20名でした。

今年、被害者完全勝利から50年。イタイイタイ病の原因が、三井金属神岡鉱業所から長年にわたって神通川に流出したカドミウムなどの重金属を飲み水やコメなどから摂取して発症する。腎臓障害により骨がもろくなり、くしゃみやせきをただけで激痛が走り骨折に苦しむことからその名がついた。被害住民は、神通川流域に農業被害やイタイイタイ病の惨禍をもたらしとして賠償を求め、三井金属を提訴した。昭和46年6月30日1審富山地裁で全面勝訴し、翌47年8月9日、名古屋高裁金沢支部で被害者完全勝利の判決が確定した。全国四大公害裁判のトップを切っ、住民側完全勝訴である。その年から50年です。

北陸交流ウォークの初日13日は、健康パーク内の富山県立イタイイタイ病資料館にて県の担当者の説明を聞き、バーチャル展示に見る悲惨な状況はまさに地獄図で2度とあってはならないことである。

また、語り部の江添さんから講話は、江添さんの父・久明さんはイタイイタイ病対策協議会の副会長として、患者救済や裁判勝訴に尽力されました。講話の中で父の生涯を辿りながら、当時の時代背景や患者・家族の様子を伝えると共に、イタイイタイ病の悲惨さとその教訓を後世に語り継いでいくことの必要性についてお話しされました。父の半生は、裁判闘争と勝訴直後に三井金属との間で取り交わした2つの誓約書と1つの協定書の実現のために費やされた長い闘いの歴史でした。語り部をしようと思ったのは、父の死後、今年で50周年を迎えるイタイイタイ病対策協議会の会合や



イ病資料館の行事に参加して、「今もイ病は終わっていない」「風化させてはならない」「原因企業への立入調査の継続」など、多くの関係者が真剣に取り組んでおられる姿を見るにつけ、傍観者でいいのかとの自責の念に駆られたからです。と語られました。



神通川の新保大橋を渡る

この資料館を出発し、任海・新保地区から神通川の新保大橋を渡り萩島の清流会館へ約4キロ1時間程のウォークでした。この地は神通川を真ん中に熊野川と井田川に挟まれ患者の発症地域である。晴天の下、刈り取りも終わり蘇った豊かな大地の中を歩きました。説明や講和を聞いていなければ、とても考えられない平和光景です。命を尊重する社会をどう実現するか 命を守ることと経済活動のはざまに揺れるコロナ禍の今、現地であらためて「風化させてはならない」と感じました。清流会館では 会長の小松雅子さんの案内を受けました。小松雅子さんの父・義久さんは、イタイイタイ病対策協議会の初代会長として、患者救済や裁判勝訴に尽力されました。小松さんには、父・義久さんの足跡を振り返りつつ、被害者団体会長の娘としてイタイイタイ病と向き合ってきた自身の体験をお父さんとの思い出を交えながら語っていただきました。父の活動の原点は、母や祖母の病状を間近に見た経験であり、多くの悲惨な患者さんを救済したいという強い信念のもと、イタイイタイ病と闘い続けた人生でした。父は、公害の歴史を後世に伝えるため公設の資料館の建設を 県に繰り返し要望し、ようやく活動が実った矢先の平成22年2月、資料館建設を目前に人生を閉じました。石川県知事が清流会館を視察された日の父の笑顔や資料館整備を目指す知事の記者会見を見て、「長年の夢が叶った」と幾度も噛みしめるように言っ

た父の言葉が、今でも甦り胸が熱くなります。

「裁判に負けたらこの土地には住めない」「戸籍を懸けた」と覚昼夜を問わず脅迫電話や無言電話の嫌がらせが続きました。晩年父は、「公害は環境問題の原点」であり、「真実を真実として語り継いで欲しい」と言葉を残しました。この言葉の重さを感じながら、そばにいたからこそ感じる父の想いを受け継いでいくことが私の使命でありと、語っていただきました。

13日の夜は、とやま自遊館にて

【庄川遡上物語；河口から源流までのウォークの記録】として林憲彦さんからスライドを使っての報告とその後交流会を行いました。

荒井県連理事長のあいさつを受け、来年の北陸交流ウォークは福井での再会を確認し和やかに懇談しました。

14日は、魚津に移動して、あいの風魚津駅から”しんきろうーロード”をウォークしました。

この日は、前日に続いて快晴で蟹気楼が出るかもと期待できるような陽気であった。残念ながら微風があり出現しなかった。

ウォークの終点は、魚津の米騒動は、大正7年(1918年)7月22日に北海道への米の輸送船・伊吹丸が魚津町に寄港した時、おりからの米価高騰に苦しんでいた漁師の主婦ら数十人が、米の積み出しを行っていた大町海岸の十二銀行の米倉庫前に集まり、



当時の十二銀行魚津支店の米倉で  
現在は魚津水産株式会社の事務所

「米の値段が高くなるのは、県外に米を持っていくから魚津に米が無くなるのだ！」と、米の積み出しを止めるように要求し、このため米の搬出は中止されました。魚津では全国に先駆けて「貧民救助規定」などで貧民を救済してきたので、暴動や打ちこわしでなく話し合いで解決されてきたことが大きな特徴です。(魚津ボランティアガイドさんの説明より)



ウォーキング出発 顕彰碑前で



現存の米倉内部

#### 【今後の予定】

- 10月30日(日) 常虹の滝 (実施済)
- 11月6日(日) 尖山ウォーク+吉峰で 県連交流 BQ
- 11月22日(火) に変更 守山城址ウォーク 雨天中止の(8月21日予定分のリベンジ)
- 12月4日(日) スポーツ連盟県連定期大会
- 12月11日(日) 古洞の森ウォークと2023年計画を話し合う アンケートをお願い。
- 1月8日(日) 2023 初詣ウォーク